事業所名：（有)グループホームせいゆう荘

目標達成計画

作成日：　2019 年　12 月　19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】　注)「項目番号」の欄については、自己評価項目の№.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4ー(3)	今後も参加者を増やすために市役所の方や地域の方、ご家族のご都合日を確認していく予定である。避難訓練の日程もお知らせし地域の方や消防団の方々の参加も増やしていきたいと考えている。	施設・行政・地域の連携強化	アンケートなどを利用して参加者の都合を最確認する。災害避難訓練や火災避難訓練などにおいて地域との関わりを強化する意味で地元消防団や施設近隣の方々へ協力をお願いする挨拶まわりを行う。	12　ヶ月
2	11－（7)	今後も施設長、職員全員で結束し職員がもっと仕事をしやすくなる環境を考えると共に職員の負担軽減に向けた検討を続けていく予定である。	チームワークの強化と働きやすい環境作りの再構築	まず施設の体制を整えることから入り利用者さんの定員を満たす。そして介護の経験・未経験関係なく利用者さんのための介護について意見や疑問を投げかけられるような意識つくりに努める。	12　ヶ月
3	36－（14	今後も尊厳・自尊心・羞恥心の視点を強化し排泄時のドアを閉めることを意識したり所在確認の方法を検討する予定である。ご本人への説明時に職員の語尾が強くなる時もあり言動の振り返りも行う予定である。	相手の立場になって物事を考える習慣を職員全員が意識できるように取り組む。	介護者本位のケアになっていることもあるので今一度利用者さん、その家族の立場に立って物事を考えるようにする。所在確認はセンサーや職員の注意や目を向ける。トイレのドアの閉会は勿論だがカーテンなどで仕切って見えない工夫をする。	12　ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月